

図書館ではこんな本が人気です

以前、図書館のホームページや利用者検索端末機で、予約の多い本の一覧を見ることができることをご紹介しました。

今回は、実際にまだどんな本が人気あるのか、そのランキングを紹介します。みなさんの読んだ本、読みたい本もランクインされていますか？

- | | |
|--------------------|------------|
| ① 舟を編む | 三浦 しをん (著) |
| ② マスカレード・ホテル | 東野 圭吾 (著) |
| ③ ナミヤ雑貨店の奇蹟 | 東野 圭吾 (著) |
| ④ 麒麟の翼 | 東野 圭吾 (著) |
| ⑤ ジェノサイド | 高野 和明 (著) |
| ⑥ 真夏の方程式 | 東野 圭吾 (著) |
| ⑦ 謎解きはディナーのあとで (2) | 東川 篤哉 (著) |
| ⑧ 下町ロケット | 池井戸 潤 (著) |
| ⑨ サファイア | 湊 かなえ (著) |
| ⑩ 三匹のおっさんふたたび | 有川 浩 (著) |
| ⑪ 人生がときめく片づけの魔法 | 近藤 麻理恵 (著) |
| ⑫ 謎解きはディナーのあとで | 東川 篤哉 (著) |
| ⑬ 境遇 | 湊 かなえ (著) |
| ⑭ ビブリア古書堂の事件手帖 | 三上 延 (著) |
| ⑮ 紙の月 | 角田 光代 (著) |

図書館HP <http://www.library.kiyose.tokyo.jp>

携帯電話 <http://www.library.kiyose.tokyo.jp/mobile/index.jsp>

TEENS JOY

お勧め図書リスト「ティーンズ・ジョイ」



No.10 2012.7

清瀬市立図書館

スパート!

川西 蘭／著
小学館



怪我でバレーボール部を退部し不登校になってしまった女子高生、早坂凜。

ある日、元競輪選手の瀧口と出会い、スポーツバイクの解放感、走る喜びを知り、世界最速を目指し、仲間たちと挑む日々が始まります!

主人公・凜のように挫折し、自分の夢や希望を失いかけてしまっても、また新たな夢を見つけられたらと思う1冊。

前向きに頑張る主人公に、勇気もらえるスポーツ小説です。

<野塩図書館 工藤>

熱くて暑い、笑いと汗が満載の青春スポーツ小説です。

主人公のジュンペーは超難関で文武両道名門の国学園に奇跡的に合格することが出来ました。ところが憧れのバスケ部は問題山積でとうとう新入部員は2人きりになってしまいます。勉強ではダントツ最下位で、もうバスケ以外ないジュンペー。どうしても諦めきれずにある勝負に挑むこととなりますが・・・。

ちなみにアウリープとはパスを空中でキャッチし、そのまま着地せずにシュートを打つハイレベルなワザのことです。

<駅前図書館 宇津木>

ぼくたちのアリウープ

五十嵐 貴久／著
PHP研究所



13歳のキミへ

高濱 正伸／著
実務教育出版



「メシが食える大人になろう」。しかし、大人の世界は甘くない。ソリの合わない人もいるだろう。失敗もするだろう。悩むだろう。でも、なんとか合わせていくのが、生きること。

何、言ってんの!と思うかもしれないけれど、物事にはいろいろな面があるのです。いろんな人がいるのです。

中学・高校時代にそんな視点を変えた見方、考え方を鍛えましょう。

<竹丘図書館 外口>

ベルゲン・ベルゼン収容所で15歳のときに亡くなったアンネ・フランクが書いた「アンネの日記」は、収容所に入るまでの『かくれ家』で身を潜めて暮らした2年間の日々が書かれています。

もうひとり「ルーマニアのアンネ・フランク」として知られた女性を書いた作品が『14歳のアウシュヴィッツ』です。

収容所に入ってからの4ヶ月余りの極限の生活の中で、紙を手に入れ、書いた日記を隠し、生き延びて持ち出したボロボロになった日記のページをめくりながら当時の自分を振り返って描いた作品です。

<駅前図書館 長谷川>

14歳のアウシュヴィッツ

アナ・ノヴァク／著
白水社

